



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 株式会社アトラエ 上場取引所 東
コード番号 6194 URL <https://atrae.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 新居 佳英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 秀和 TEL 03-6435-3210
四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年9月期第2四半期 | 3,541 | 14.1 | 318 | △52.2 | 301 | △54.5 | 90 | △72.0 |
| 2022年9月期第2四半期 | 3,103 | - | 665 | - | 662 | - | 321 | - |

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 85百万円 (△73.3%) 2022年9月期第2四半期 321百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年9月期第2四半期 | 3.34 | 3.34 |
| 2022年9月期第2四半期 | 12.01 | 11.92 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年9月期第2四半期 | 7,760 | 6,189 | 75.1 |
| 2022年9月期 | 7,400 | 5,926 | 76.7 |

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 5,831百万円 2022年9月期 5,672百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期 | - | 0.00 | - | 0.00 | 0.00 |
| 2023年9月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2023年9月期（予想） | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,500 | 13.8 | 810 | △23.6 | 797 | △24.8 | 514 | △20.9 | 19.06 |

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2023年9月期の連結業績予想の修正につきましては、本日（2023年5月11日）公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、「添付資料」P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、「添付資料」P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年9月期2Q | 27,021,200株 | 2022年9月期 | 26,961,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年9月期2Q | 18,711株 | 2022年9月期 | 18,432株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年9月期2Q | 26,962,091株 | 2022年9月期2Q | 26,796,540株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の不確定要素により、実際の実績と異なる場合がありますのでご了承ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年5月11日（木）に機関投資家・アナリスト向け説明会を実施する予定です。当日使用する資料を四半期決算補足説明資料として、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) キャッシュ・フローに関する説明 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に和らいで経済社会活動の正常化が進み、緩やかに持ち直しております。一方で、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるなど、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、成功報酬型求人メディア「Green」、組織力向上プラットフォーム「Wevox」、ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」、及びプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を運営してまいりました。

成功報酬型求人メディア「Green」については、我が国の経済が不透明な状況にある中でも、求人企業の多くが属するインターネット業界において、人工知能やIoTに関する様々なサービスが生まれており、ITエンジニアやWebデザイナーといった人材の需要が堅調に推移しております。当社では、求人企業と求職者のマッチング効率向上のためのコンテンツの拡充、ビッグデータ解析によるレコメンド精度の向上をはじめ、登録者数の増加施策としてWebマーケティングの強化等、転職市場における「Green」の独自の競争優位性を活かした様々な取り組みを実施しております。

組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、組織の状態をスコアリングして可視化し、改善策を推奨することで、利用企業の組織改善を支援するサービスであり、2017年5月の正式リリース以降着実に導入企業を増やしております。当社では、今後の拡販に向けてプロダクトの更なる向上、カスタマーサクセス体制の充実を図ることが重要と考えております。

ビジネス版マッチングアプリ「Yenta」については、「ビジネスを加速させる出会い」を生み出し、ユーザー数が順調に増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,541,701千円（前年同期比14.1%増）、営業利益は318,004千円（前年同期比52.2%減）、経常利益は301,120千円（前年同期比54.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90,016千円（前年同期比72.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(People Tech事業)

成功報酬型求人メディア「Green」については、当第2四半期連結累計期間の入社人数は2,168人（前年同期比5.5%減）となりました。組織力向上プラットフォーム「Wevox」については、幅広い業種・業界にサービスの提供を行っており、本書提出日現在の導入企業は2,810社を超えております。

以上の結果、People Tech事業の売上高は3,374,879千円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は642,091千円（前年同期比31.4%減）となりました。なお「Green」の売上高は2,387,182千円（前年同期比2.6%増）、「Wevox」の売上高は932,787千円（前年同期比54.8%増）であります。

(Sports Tech事業)

当社グループは、千葉県千葉市を本拠地とするプロバスケットボールクラブ「アルティリー千葉」を新規に設立し「Sports Tech事業」に進出いたしました。「アルティリー千葉」は当社の連結子会社である株式会社アルティリーが運営等を行っております。2021-22シーズンよりB3リーグに新規参入し、初年度にB2リーグへの昇格を果たし、当第2四半期連結累計期間はB2リーグにて活動を行ってまいりました。

以上の結果、Sports Tech事業の売上高は266,821千円（前年同期比53.8%増）、セグメント損失は325,287千円（前年同期は271,607千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,760,717千円となり、前連結会計年度末と比べて360,648千円増加しました。これは主に、現金及び預金が259,251千円、流動資産のその他が56,854千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,571,265千円となり、前連結会計年度末と比べて97,893千円増加しました。これは主に、未払金が93,292千円、契約負債が22,511千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,189,451千円となり、前連結会計年度末と比べて262,754千円増加しました。これは主に、新株予約権が103,479千円、資本金が36,720千円、資本剰余金が36,720千円増加したこ

とに加えて親会社株主に帰属する四半期純利益90,016千円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,209,012千円となり、前連結会計年度末と比べて259,251千円の増加となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、314,142千円の収入（前年同四半期は359,382千円の収入）となりました。この主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益301,120千円、株式報酬費用の計上額103,479千円及び未払金の増加額93,297千円であり、主な減少要因は、法人税等の支払額200,151千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、53,253千円の支出（前年同四半期は255,111千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出48,177千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,637千円の支出（前年同四半期は1,202千円の支出）となりました。これは、リース債務の返済による支出1,637千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は本日（2023年5月11日）開催の取締役会において、2022年11月11日に公表いたしました2023年9月期通期（2022年10月1日～2023年9月30日）の連結業績予想の修正を決議いたしました。詳細につきましては、本日（2023年5月11日）公表いたしました「2023年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,949,761 | 5,209,012 |
| 売掛金 | 689,122 | 717,552 |
| 商品 | 6,289 | 14,376 |
| その他 | 150,818 | 207,672 |
| 貸倒引当金 | △3,121 | △6,723 |
| 流動資産合計 | 5,792,870 | 6,141,888 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 240,979 | 230,111 |
| 無形固定資産 | 2,477 | 776 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 868,177 | 883,443 |
| その他 | 495,564 | 504,497 |
| 投資その他の資産合計 | 1,363,741 | 1,387,940 |
| 固定資産合計 | 1,607,198 | 1,618,828 |
| 資産合計 | 7,400,069 | 7,760,717 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 25,258 | 43,495 |
| リース債務 | 3,300 | 3,352 |
| 未払金 | 629,211 | 722,504 |
| 未払法人税等 | 221,010 | 239,848 |
| 未払消費税等 | 82,997 | 42,959 |
| 契約負債 | 411,725 | 434,237 |
| その他 | 76,302 | 70,989 |
| 流動負債合計 | 1,449,807 | 1,557,387 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 15,568 | 13,878 |
| 繰延税金負債 | 7,996 | — |
| 固定負債合計 | 23,564 | 13,878 |
| 負債合計 | 1,473,371 | 1,571,265 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,231,463 | 1,268,183 |
| 資本剰余金 | 1,217,463 | 1,254,183 |
| 利益剰余金 | 3,229,980 | 3,319,996 |
| 自己株式 | △790 | △790 |
| 株主資本合計 | 5,678,118 | 5,841,574 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,649 | △9,831 |
| その他の包括利益累計額合計 | △5,649 | △9,831 |
| 新株予約権 | 254,229 | 357,708 |
| 純資産合計 | 5,926,697 | 6,189,451 |
| 負債純資産合計 | 7,400,069 | 7,760,717 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 3,103,663 | 3,541,701 |
| 売上原価 | 292,376 | 421,605 |
| 売上総利益 | 2,811,286 | 3,120,095 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,145,996 | 2,802,091 |
| 営業利益 | 665,290 | 318,004 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24 | 22 |
| 経営指導料 | — | 6,000 |
| 助成金収入 | — | 5,521 |
| 雑収入 | 108 | 364 |
| 営業外収益合計 | 132 | 11,907 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 309 | 290 |
| 支払手数料 | 596 | 595 |
| 投資事業組合運用損 為替差損 | 1,237 | 26,884 |
| 1,078 | 1,021 | |
| 営業外費用合計 | 3,221 | 28,791 |
| 経常利益 | 662,201 | 301,120 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 662,201 | 301,120 |
| 法人税等 | 340,380 | 211,104 |
| 四半期純利益 | 321,820 | 90,016 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 321,820 | 90,016 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 321,820 | 90,016 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △4,181 |
| その他の包括利益合計 | — | △4,181 |
| 四半期包括利益 | 321,820 | 85,834 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 321,820 | 85,834 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 662,201 | 301,120 |
| 減価償却費 | 19,688 | 17,522 |
| 株式報酬費用 | 72,861 | 103,479 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | 1,237 | 26,884 |
| 受取利息 | △24 | △22 |
| 助成金収入 | — | △5,521 |
| 支払利息 | 309 | 290 |
| 支払手数料 | 596 | 595 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 22,590 | △28,429 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1,947 | 3,602 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △5,255 | △8,086 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 30,774 | 18,236 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △256,851 | 93,297 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △10,149 | △40,038 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 203,617 | 22,511 |
| その他資産の増減額 (△は増加) | △21,347 | 9,620 |
| その他負債の増減額 (△は減少) | △42,685 | △5,425 |
| 小計 | 679,510 | 509,640 |
| 利息の受取額 | 24 | 22 |
| 助成金の受取額 | — | 5,521 |
| 利息の支払額 | △309 | △290 |
| その他の支出 | △599 | △599 |
| 法人税等の支払額 | △319,244 | △200,151 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 359,382 | 314,142 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △18,427 | △5,075 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △234,520 | △48,177 |
| 敷金の差入による支出 | △2,164 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △255,111 | △53,253 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △1,202 | △1,637 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,202 | △1,637 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 103,068 | 259,251 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,834,986 | 4,949,761 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,938,055 | 5,209,012 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | People Tech事業 | Sports Tech事業 | 計 | | |
| (財又はサービスの事業別) | | | | | |
| Green | 2,327,511 | — | 2,327,511 | — | 2,327,511 |
| Wevox | 602,612 | — | 602,612 | — | 602,612 |
| 新規事業 | 50,340 | 173,449 | 223,789 | △50,249 | 173,539 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 2,980,463 | 173,449 | 3,153,913 | △50,249 | 3,103,663 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,980,463 | 123,199 | 3,103,663 | — | 3,103,663 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 50,249 | 50,249 | △50,249 | — |
| 計 | 2,980,463 | 173,449 | 3,153,913 | △50,249 | 3,103,663 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 935,697 | △271,607 | 664,090 | 1,200 | 665,290 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,200千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|---------------|---------------|-----------|-------------|---------------------------|
| | People Tech事業 | Sports Tech事業 | 計 | | |
| (財又はサービスの事業別) | | | | | |
| Green | 2,387,182 | — | 2,387,182 | — | 2,387,182 |
| Wevox | 932,787 | — | 932,787 | — | 932,787 |
| 新規事業 | 54,910 | 266,821 | 321,731 | △100,000 | 221,731 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,374,879 | 266,821 | 3,641,701 | △100,000 | 3,541,701 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,374,879 | 166,821 | 3,541,701 | — | 3,541,701 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 100,000 | 100,000 | △100,000 | — |
| 計 | 3,374,879 | 266,821 | 3,641,701 | △100,000 | 3,541,701 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 642,091 | △325,287 | 316,804 | 1,200 | 318,004 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,200千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実と資本効率の向上を図ると共に、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得に係る事項の内容

| | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 1,400,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.2%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,000,000千円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2023年5月12日～2023年7月31日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付 |